●エンフルエンザー（流行性感冒）がはやっていますから，家庭で十分にご注意下さい。

医療白書

給付のトップは歯科

一件当たりではガン

受診15万4,000件，給付5千万円

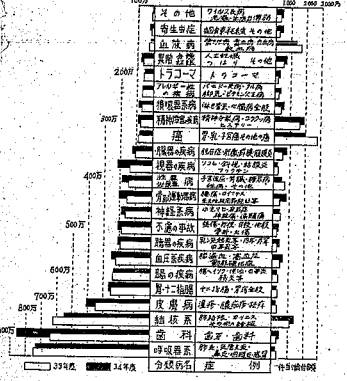
34年度国保事業にみる

市の保険課では国民健康保険事業における昭和34年度の疾病白書を作成しました。

これによりますと，昭和34年度中における総受診件数は15万3，906件で，給付した額は5，155万57，50円の巨額にのぼりこれだけみなさんの家庭に還元給付されていることになります。これを1件当たり1人当たりでみますと，1件当りでは334円で，1人当たりでは年に3，3回受診していますので年間1人の被保険者が1，100円の還元給付を受けていることになります。これを保険料とくらべてみた場合は，保険料の1人当たりが909円となっていますから191円の受益を受けたことになります。

以下給付からみた各疾病の実態を図表によって昨年とくらべながらみてまいりましょう。

給付費からみた各疾病の実態



歯科　給付額の面からみるとトップになりました。この延びは現在甲・乙二表の点数表を使って治療に当たっていますが歯は甲表を使って治療に当たっています。従って技術を高く評価している甲表による延びと，口腔衛生を次第に重くみるようになってきたことまた二重加入が来年から出来なくなるからといった現実派なども手伝っていることなども見落せない延びの原因であるようです。

結核　前年にくらべて減って来ていますが，1件当たりが延びています。これは特効薬の三者併用の普及（パス・ストマイ・ヒドラなど）が許可されたゝめ件数の少ない割に金額が重んでくることと，入院を伴うからだとみられます。

◎……

年々上る血圧系

……◎

血圧系病　年々上昇して来ています。

この病気は件数もふえて来ていますが，高価薬の使用と長期にわたるため給付額はふくれ上がる一方で根治手術のない現代病の一種であります。

不慮の事故　これこそ防げば防げる病気ですがやはり増加をみせています。一人一人の心がけによっては，医保料の軽減にもひびくことをご理解頂き事故防止に協力頂くとともに不幸を防ぐよう心がけたいものです。

ガン　依然として1件当りでは1位を占め他の追随をゆるしません。如何に金のかゝる疾病であるかゝうなづけます。一方死亡も2位の高位を占めています。たゞ脳溢血のそれとくらべ死亡年令が若いことが注目されます。

◎……

ふえる精神病

……◎

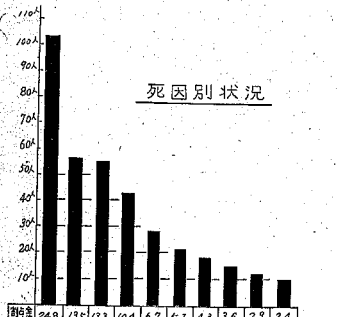
精神障害の疾病　社会問題の一つで国でも精神衛生法の改正まで行って対策を立てゝいますが，年々増高を続けています。また，1件当たりの高いのはやはり入院が伴うからであります。

血液病　1件当たりを見た場合見のがせない病気の一つです。こゝに一番重きをなしているのは白血病で，大量の抗生物質と大量の輸血で1件当たりを高くしていますが，特効薬はなく病人は殆んど死の転帰をとっています。

以上が表からみたものでありますが，一人一人の注意で防げるものと，保険施設等行政の面を通じて予防と早期発見・早期治療によって大病を防ぐものと二つに分けられます。皆さん方はこの両面をよく理解され，医療保険と医療費の節減にご協力ねがいます。

（保険課）

死因別状況



断然多い脳溢血

35年中の死因別　つづくガンと心臓病

昭和35年1月から12月までの新津市内での死因別統計が左表のとおりまとまりました。

これによると死亡者総数415名で，トップは依然脳溢血の103名が罪をぬき，ガンの56名，心臓病の55名がこれに次ぎこの三つで全体の51．6%と過半数を占めています。また脳溢血・ガン心臓病による死亡年令はいずれも65才～74才までの人が大部分を占め，不慮の事故では半数以上が自動車や汽車などによる交通事故となっていることも注目されます。

（保険課）

青年が非常に少い

農業人口大きく減る

第9回・国勢調査の結果②

昨年の国勢調査の結果について，先に市の人口の動きをお知らせしましたが，今回は年令別・就業別・住宅についての集計をお知らせします。

この国勢調査の集計結果により新津市のすがたをだんだん明らかにして，長所と欠点をよくみつめながら市民のみなさんの生活向上の指針といたしたいものです。

（総務課）

◎年令別人口

①図表をみますと，15才から29才までの男子が他の年令層とくらべて非常に少い数字であらわれています。

これは，当市に就業すべき工場や施設が少いため，他の土地に出ていることを物語っていましょう。

この年令別図表は順調ならばピラミッドのように，下の方がひろがり，上にゆくに従って細くなるのですが，10才～14才の線を境として9才以下は順次減ってきています。これらは産児制限，世相の一端をみせているものと思われます。

◎就業別人口

②表により昭和25年の国勢調査とくらべますと，第一次産業の操業人口が大きく減り第二次・第三次産業が増加しています。

これはやはり，戦後からの日本経済の歩みの中で，新津市としても，その大きな流れの影響を受けながら発展してきていることを示しています。

◎住宅・畳数

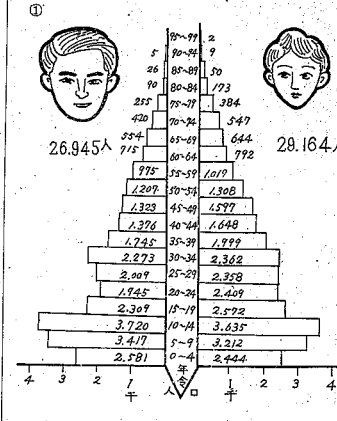
衣・食・住の中，衣と食は一応整えられてきましたが，住の方は全国的に未だ遅しの感があります。

③表に示されているように，当市としては戦後住宅建設に意を注いできていますが，借家・間借りはやはり多くの数字を示しています。

畳数は人口1人当たりに案外多いようですが，これは田園都市として，農家などに大きな家のあるためで，市街地ではずっと少いものになります。

（次回は昼間人口・特性人口部落別人口について）

①



③住宅・畳数　35.10.1

区分	世帯数
持家	8.243
借家	1.897
間借	682
寄宿舎・寮	17
その他	21
合計	10.860
畳総数	306.099畳
一世帯平均畳数	28.2
人口1人平均畳数	5.5

② 産業別就業人口（35.10.1現在）

区分		人口	昭和25年度人口	増減
第一次産業	農業			
	林業及び狩猟業			
	漁業及び水産業	9.153	11.710	△2.557
第二次産業	鉱業			
	建設業			
	製造業	4.952	3.635	1.317
第三次産業	卸売業及び小売業			
	金融業保険業不動産業			
	運輸通信及び公益事業			
	サービス業			
	公務			
	分類不能産業	10.299	7.461	2.838
計		24.404	22.806	△1.238

長野で産業博

前売券は商工課で

来る4月1日から5月21日まで51日間，長野市で"長野産業文化博覧会"が開催されます。この博覧会は経費1億5，000万円で，規模も長野市城山公園一帯に第一・第二・第三会場合せて3万3，000平方メートルに，全国の県光と物産館をはじめ仏教館・宇宙館・工業館・農林水産館など24館が開館されます。7年に一度とゝわれる善光寺の御開帳もこの開催期間中にあわせ参観をかねて全国から多数の参観者があるものと予想されます。

市では博覧会事務局からの依頼で，前売券の発売を行っていますのでご利用されるようお知らせします。

1．前売券　大人120円（当日売は150円）

2．前売期間　3月20日まで

（商工課）